

表1 令和2年度会員数と事業の実績

項目	2年度	前年度	増減
会員数			
(1)全体数	1,003人	1,052人	△49人
(ア)男性	582人	610人	△28人
(イ)女性	421人	442人	△21人
※ 平均年齢は男性74.0才、女性73.9才、全体で73.9才			
請負・委託の仕事			
(1)受注額	4億648万円	4億2,613万円	△1,965万円
(2)就業延べ人数	81,768人	85,712人	△3,944人
(3)受注件数	5,095件	5,759件	△664件
派遣による仕事			
(1)契約額	8,118万円	8,618万円	△500万円
(2)就業延べ人数	14,163人	15,522人	△1,359人
全体			
(1)就業実人数	846人	879人	△33人
(2)就業率	84.3%	83.6%	0.7%

表2 令和3年度予算の概要

項目	3年度予算	前年度決算
1 収入合計	4億7,075万円	4億3,742万円
(1)受託事業収入 (請負による配分金、 材料費等、事務費)	4億3,400万円	4億0,065万円
(2)派遣事業等収入 (派遣事業に伴う受託収入)	770万円	790万円
(3)有料職業紹介収入	5万円	0
(4)人材確保育成事業収入	5万円	6万円
(5)会員の会費	264万円	242万円
(6)国、市の補助金	2,599万円	2,608万円
(7)その他収入 (受取利息、雑収益)	32万円	32万円
2 支出合計	4億7,300万円	4億3,580万円
(1)事業費 (うち支払配分金)	4億6,412万円 (3億5,000万円)	4億3,028万円 (3億2,399万円)
(2)管理費 (管理運営に係る費用)	888万円	553万円
収支(差引)	△225万円	163万円

令和3年度 事業計画

新たな生きがい、仲間、 地域、環境の創造を 目指します

令和3年度は、このたび策定した第4次中期基本計画（R3～7）の初年度にあたります。このため、新計画のスローガンである「生涯現役社会に相應るセンター」を目指し、新たな生きがい、仲間、地域、環境の創造に取り組みます。

中でも会員の確保と就業機会の拡大はセンター運営の両輪であり、このため、広報誌やバスの車内広告などのメディアの活用や、説明会の拡充など、積極的なPR活動に努める一方、1人1会員獲得や女性会員の拡大

を最重要課題として推進します。また変化する生活様式に対応した新たなニーズの開拓やマッチング調査等による会員の意向把握に努め、就業者の減少防止と就業機会の拡大を図ります。

健康&事故0を目指そう

近年大きな問題となっている感染症や熱中症への対応、また安全就業・事故防止は組織全体で取り組むべき大きな課題であり、安全は全てに優先します。そのため安全就業基準や安全

令和2年度 事業報告

コロナ禍で 会員数、契約額とも 減少となりました



あいさつする
大田理事長



令和3年3月末の会員数は1003人で、男性582人、女性421人となり、前年度から49人の減少となりました。請負・委任と派遣事業を合わせた契約金額の合計は4億8182万円となり、前年度と比べて3048万円、5.9%の減となりました。（表1参照）

新型コロナウイルス感染症による就業の中断や縮小、廃止などの影響があったものの、「新しい生活様式」を踏まえた感染防止対策を講じながら会員拡大

や就業機会の確保・創出に取り組みました。

普及啓発活動として、会報「いきがい」を年4回発行。地域の市民センターに配置したほか、ホームページの拡充や報道機関への情報提供など、シルバー事業活動の幅広い周知に努めました。

地域社会への貢献

地域貢献の一環として、会員・市民を対象とした「女性の集い・いきいきレディースサロン」の



令和3年度

定時総会

規模を縮小して開催

密にならないよう

総会では、まず議長に渡辺勉さん（徳山）を選任。最初に、「令和3年度事業計画と収支予算書等」の報告があり、続いて「令和2年度事業報告と決算」、また定款の一部変更や会費規程の一部改正、役員改選の報告・説明があり、いずれも可決・承認されました。

令和3年度の定時総会は、5月28日、会員688名（出席26名、委任状662名）の参加のもと、ホテルサンルート徳山で開催されました。

昨年に続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会員の皆様には来場を合わせていただき、また規模を縮小しての開催となりました。

開催や手芸部による道の駅での作品販売、「布マスク」の作成、またボランティアでの公共施設、福祉施設やその周辺の清掃、剪定作業など、会員と地域との交流を推進しました。

また、就業機会の公平化のため、継続就業形態の調査を実施するとともに、受託事業から派遣事業への切り替えなど就業形態の是正に取り組みました。

このほか今後5年間の事業運営の指針となる第4次中期基本計画を策定。市はじめ関係機関や市民の皆様との協力をいただきながら、誰もが生涯現役で活躍する社会を目指し事業運営を行っています。

ポイント(功労者)表彰

この表彰制度は、総会などの出席やボランティア活動への参加など、功労者会員を表彰するものです。

昨年度はコロナによるイベントの中止などポイント獲得が厳しい中、会員拡大に貢献された、**中村美代子**さんが唯一人表彰されました。おめでとうございます。

朗報1

夫婦会員の会費が減額に



新たな会員確保を目的に、今年度の定時総会で、会員会費規程の一部改正が承認されたもので、夫婦会員の方の会費はいずれも半額になります。

ただし、既に夫婦とも会員である方、年度途中で配偶者が新たに会員となった方は次年度からの適用となります。

詳しくは事務局へ。
☎0834-25-6262

朗報2

南陽支部が移転します

周南市役所新南陽総合支所の整備に伴い、南陽支部の事務所がイオンタウン周南前に移転します。


移転先 周南市古市1丁目1番21号 西部市民交流センター内

電話番号の変更はありません。
☎0834-63-3040

移転は令和3年7月22日(木)の予定です。



貢献役員理事表彰



6月22日に開催された公益社団法人山口県シルバー人材センター連合会の定時総会において、令和3年度「センター事業貢献役員」として、理事の神田宝さんが表彰されました。

理事 神田 宝

酒井 敏明 理事

この度、定時総会にて理事に選任されました。微力非才な身ではありますが、誠心誠意シルバー発展のために職務に尽力いたす覚悟です。よろしくお願いいたします。

河谷 哲男 理事

この度、理事に就任しました。今後、シルバー人材センターの方々と楽しく集い、社会貢献が出来ればと思っております。よろしくお願いいたします。

友森 睦子 理事

不安と戸惑いのスタートです。「さあ貴方の出番!ここから始まる新しいワクワクが!」、この女性委員会のキャッチフレーズを心の糧に頑張ってみます。よろしくお願いいたします。

水津 清 理事

コロナ禍の状況下、会員の皆様とともに地域貢献のために、当センターの仕事の即戦力になれるよう微力ながら頑張る所存です。ご指導とご助力お願いします。

田中 顕次 監事

この度、新たに監事となり身が引き締まる思いを感じています。今までの経験を生かし、信用ある組織の発展にお役に立てればと思います。よろしくお願いいたします。

村田 明 理事

この度、理事に選任されました。誠に緊張しております。昭和24年生まれで、少し歳はとっておりませんが、気合と体力には自信をもって頑張ります。



▲ 臨時理事会



▲ 新体制の皆さん

新体制スタート

今年度の総会は2年ごとに行われる役員改選があり、次のとおり新任8人、再任7人の計15人の方々が理事・監事に選任されました。

- (敬称略)
- | | |
|------|------------|
| 理事長 | 大田 良充 (再任) |
| 副理事長 | 宮川八州志 (再任) |
| 常務理事 | 森重 達夫 (再任) |
| 理事 | 阿部 久恵 (新任) |
| 理事 | 入部 重夫 (新任) |
| 理事 | 加藤 悦子 (再任) |
| 理事 | 河谷 哲男 (新任) |
| 理事 | 神田 宝 (再任) |
| 理事 | 酒井 敏明 (新任) |
| 理事 | 水津 清 (新任) |
| 理事 | 友森 睦子 (新任) |
| 理事 | 光清 章 (再任) |
| 理事 | 村田 明 (新任) |
| 理事 | 河川 淳郎 (再任) |
| 監事 | 田中 顕次 (新任) |

総会後に開催された臨時理事会では理事長他の役職の選任が行われ、大田理事長、森重常務

理事兼事務局長が再任されました。また、今回で退任となる山崎副理事長の後任として宮川理事が選任されました。

新理事・監事紹介

8名の新任理事・監事を紹介します。

阿部 久恵 理事

この度、理事に選任され日々重責を感じております。任期までできる限り、皆様のお役にたてる様努めて参ります。よろしくお願いいたします。

入部 重夫 理事

この度、理事に就任いたしました。会員の皆様とともに、人材センター発展のために一助たるべく努力したいと思っております。宜しくお願い申し上げます。

山崎 光夫 前・副理事長

平成15年から18年間、事務局長や理事、副理事長としてセンターに関わってきました。多くの方々との出会いや経験は私の何よりの財産です。ご支援、ご協力に深く感謝すると共にセンターの発展と皆様のご健勝をお祈りいたします。ありがとうございました。

宮川 八州志 新・副理事長

大変な重責ではありますが、理事長を補佐し、会員の皆様の仕事も少しでも良い方向に行くように、またセンターの運営が円滑に進むように、微力ながら頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

山崎 光夫 前・副理事長

平成15年から18年間、事務局長や理事、副理事長としてセンターに関わってきました。多くの方々との出会いや経験は私の何よりの財産です。ご支援、ご協力に深く感謝すると共にセンターの発展と皆様のご健勝をお祈りいたします。ありがとうございました。

なお、山崎前副理事長のほか、次の7人の方々がこのたび退任されることとなりました。

理事 青木 望武 (敬称略)

理事 杉山 壽昭
理事 西村 正之
理事 西村 良雄
理事 山根 光正
理事 横山 みはる
監事 石田 泰久

ありがとうございました。



▲ 退任される理事・監事の皆さん (石田監事は欠席)

地域の安心 安全をめざして



徳山
松村育美

地域活動で婦人会・婦人防災クラブに所属しています。

還暦まで懸命に子育てと仕事を両立させてきましたが、ようやく自分時間を持てるようになりました。その矢先の東日本大震災は未曾有の大惨事となり、国を挙げての防災対策が急務となりました。そんな折、私にも周南市防災危機管理課から「防災士」の取得依頼があり、一大奮起してその資格を取得しました。

防災士の役割は、日ごろから身の回りで防災の備えをして、有事の際に「救助される人」ではなく「救助する人」を目指すこと。災害時の身近な防災対策としては、家庭内での防災会議、防災用品の準備、家具類の転倒防止などです。特別な防災用品も数多くありますが、就

寝時の枕元に、日ごろ履きなれた靴、懐中電灯、呼び笛を置いて寝るだけでも違います。昔から「震災は忘れたころにやってくる」といわれれています。現在は「忘れなくてもやってくる」いつ?どこで?まさか!です。

新型コロナウイルスの大流行で多くのイベントが中止になる中、地元の小学校の放課後学習会の方から児童への防災指導の要望があり、地域の防災士とで防災クイズやゲーム、新聞紙を使ったスリッパ作りをしました。が、児童のみなさんは目を輝かせながら取り組んでいました。

子供のころから防災、減災について学習することは公助(行政)に頼らない自助(自分で命を守る)につながります。日ごろから防災について意識することが必要だと思えます。また、婦人会の活動では避難所の運営で、避難所に来られた方々に温かい食べ物を提供したいの思いつきから炊き出しの訓練をしています。ビニール袋を使って、手間をかけず手軽に作る。こうした訓練を続けることがとても大事だと思っています。

南海トラフ地震、30年以内と警告されています。もしもの時にどう対処できるのか?改めて「自分の命は自分で守る」をモットーに、少しでも地域のみなさんの手助けになれるよう、元気な笑顔で啓発活動を続けていきます。

私の楽しみ



徳山
藤井俊右

カラオケを始めて何年になるだろう。もともと歌が好きで、今日まで自分流で楽しんでる。

さて、5年くらい前、先輩に「詩誌」という小詩にエッセイを投稿してみないかと誘われた。現在、15名の人数。月に一度、日ごろ感じていること、新聞や雑誌のちよつと面白い記事などを投稿している。選考はなく投稿すれば必ず採用されるのだが、この4月で70冊になった。挿絵もありなかなかの物です。カラオケも投稿も、ボケ防止と脳トレを兼ねてこれからも続けていきたいと思っています。

以前に行ったアンケートで、会報「いきがい」についていろいろなご意見や感想をいただきました。・テーマを決めて募集すると良い。会員が生きがいとして活動している日常を取上げたらどうか。・観光地やスポットの紹介。皆さんの元気で働く様子が、とても明るい気持ちになります。チャレンジしてみたくありません。ページ数を増やし、クイズなどを入れれば。・ウオーク情報を載せていただきたいと思います。いきがいの川柳のようなものもあれば楽しいのではないのでしょうか。時には入会当初の会員の感想(心構えなど)意見の記事がほしい。料理(これがおいしいんよ・おすすめの一品など)。こんな改善が欲しいなどのコーナーはいかがでしょう。・就業内容、採用規模、給与額、採用条件、就業期間など。・健康法と健康食などの記事を連載してほしい。・字が大きくともカラフル!自然と目が進みますね。・趣味のことや特技を持っている会員の紹介。・年男、年女を各1名掲載など。みなさんの原稿が頼りの「みんなの広場」です。多数のご投稿をお待ちしています。年に4回発行のため、タイムリーな掲載時期にならないこともありますがご了承ください。編集委員一同、楽しんでいただける紙面を目指して今後も頑張ります。

の広場

みんな

アサギマダラに 逢いにいこう



鹿野
尾崎行雄

みなさんはアサギマダラをご存じですか。春に台湾から蔵王・北海道まで北上し、秋には南下する蝶で、別名「旅する蝶」とも呼ばれています。

この蝶は、金峰地区にも自生している「サワヒヨドリ花」に由来する習性があり、秋になると見られるといわれています。注意していても遭遇することは難しい蝶です。そのため2016年、山口県周南農林事務所のご協力で、この蝶についての勉強会を開催しました。

山口県では、下関市の華山、山陽小野田市の竜王山、周南市の長野山が観察しやすい場所になっています。長野山から金峰は九州へ渡るときの移動ルートになっていて、ここに花を植えれば来てくれることがわかりました。2017年春に周南市の幼稚園、小学校やホームス

テイで訪れた長門市の子供たちに「フジバカマ」を植えてもらいました。夏から秋にかけて草取りや草刈りを実施した結果、秋になるとたくさんアサギマダラが飛来するようになりました。

2018年から10月の第二日曜日に開催する「金峰を歩こう」のイベントで多くの人に楽しんでもらっています。今では鹿野地区のあちこちへ「フジバカマ」を移植し、鹿野地区全体がアサギマダラの飛来地になるように取り組んでいます。みなさんもぜひ、秋の一日を静かな山里風景とアサギマダラに癒されてみませんか。

毎年、周南市の広報「しゅうなん」の9月中旬号の伝言板で案内しています。



アサギマダラ

傘寿プラス一年



徳山
原厚子

私は立派な?後期高齢者です。世間的には車の運転免許証の返納期を過ぎている年齢です。

今年1月、運転免許証更新の通知が届いてからずいぶん悩み迷いました。多くの友人たちは返納し、私自身も年々車庫入れや車線変更が難しくなってきましたが、生活や仕事にはどうしても必要なので更新試験を受け、もう3年乗れることになりました。運転については、誰にも迷惑をかけないよう、今まで以上に注意して安全運転を心がけようと決意しました。

もう一つの悩みは、スマホ。スマホデビューのため、一年前からスマホ教室に通ってあれこれ勉強しましたが、ガラケーに慣れていた私には操作が難しく、これは無理だと感じて悔しいけど諦めました。

今年のお正月に孫たちが来て「ばあば、スマホにしない?」

いろいろ出来て便利で楽しいよー!と勧められ、自信のないまま携帯ショップに行きました。孫はスタッフといろいろ話しているが、私にはチンプンカンプンで理解できない状況の中で帰りました。あれこれと触ってみるけどこれまでのガラケーのようにはいかず、何度も息子や友達に間違って電話やLINEを入れてしまい、びっくりされたり注意されたりと散々な状況でしたが、スマホ教室にも通い、何度も孫が来て特訓をしてくれたお陰でやっと電話、メール、LINE、写真などが出来るようになり、みんなには感謝の気持ちでいっぱいです。

先日、錦帯橋へ満開の桜を見に行き、孫と一緒にきれいな桜並木でパチリ、パチリとたくさん撮ってきました。これからは傘寿プラス何年も、元気で楽しく過ごしたいと思っています。



事務局短信

TANSHIN



人事異動



南陽
福永 貴司

3月末まで本部でお世話になっておりました。

4月より南陽支部でお世話になっております。

馴れない環境に戸惑うことも多いかと思いますが、会員の皆様のお役に立てるよう頑張っておりますので、どうぞよろしくお祈り致します。

街かどスケッチ



長穂門前・龍文寺のヒメボタル



小畑広谷の棚田



本部
船田 璃帆

4月から本部でお世話になっております。

まだまだわからないことが沢山ありますが、会員の皆様とセンターを盛り上げていけるように頑張っております。

どうぞよろしくお祈り致します。



南陽
松野 美恵子

このたび3月31日付けをもって退職となりました。

在職中はいろいろと皆様にはお世話になり、ありがとうございました。皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

夏のマスクを快適に

- ハッカ油スプレー
 - ・息苦しさ軽減
 - ・清涼感ある香りでリラックス



マスク外側に

- ※ お風呂、虫よけ、足ムレ等使える
- マスク用冷感スプレー
 - ・息苦しさ軽減
 - ・消臭(口臭) ウイルス菌付着防止
 - ・冷感
- 接触冷感マスク

	ナノファイバー	不織布	布	ウレタン
対策方法				
吐き出し飛沫量	99% カット	80% カット	66-82% カット	50% カット
吸い込み飛沫量	99% カット	70% カット	35-45% カット	30-40% カット

マスクの効果

理化学研究所、豊橋技術科学大学、神戸大学のシミュレーションに基づき作成
ナノファイバーはカケンテストセンターPFE試験に基づく

Cool 夏用 マスク

センターの盆休み

55号でお知らせしたセンター盆休みの変更がありました。

正しくは
8月12日(木)

8月15日(日)です。

親睦旅行の中止

毎年秋に開催の会員親睦旅行は、まだまだコロナの先行きが不透明なことから、昨年に続き中止することとなりました。

残念ですが、また来年をお楽しみに。

会員手帳の予約

令和4年度の会員手帳は予約販売とします。

令和3年8月15日までに最寄りのセンターにお申込みください。

編集後記

新型コロナウイルスのワクチン接種も進んでいます。まだまだ不安な状況が続いています。みなさんほどのようにお過ごしでしょうか。これから夏本番、新型コロナウイルスに加えて熱中症にも注意が必要な日々が続きます。十分ご自愛ください。今回の「いきがい」56号から新たに宮川編集長を迎え、山本、和田、鶴原、藤本、5人の編集委員で気持ちも新たに編集作業を終えました。

(山本)